

<b>事業名</b> : 自然エネルギーの普及モデル構築等支援委託業務	
<b>会議名称</b>	ナノ小水力見学会と第3回小水力部会
<b>開催日時</b>	平成24年3月4日(日) 12:45~16:00
<b>実施場所</b>	ナノ小水力見学会: 上伊那郡辰野町横川 2766 第3回小水力部会: 辰野町 川島介護予防センター「蛇石の里」
<b>参加者</b>	: 仁科 睦弘 : 丸山 幹夫 : 月岡 通孝 : 大洞 盛胤 : 河村 洋 : 松岡 実 : 黒内 利彦 : 大塚 康生 : やの てるお : 藤城 武 : 宮下 喬一 : 武居 辰三 : 山本 逸人 : 船木 善司 : 倉澤 久人 : 小澤 陽一 見学会のみ参加者 ・堀内 信吾 ・永山 博行 ・仁科 意津雄 ・百瀬 平和 他 女性3名 男性3名
<b>記録者</b>	武居 辰三(事務局コーディネーター)
(配布資料) <ul style="list-style-type: none"> <li>・辰野町横川ピコ水力発電試験所 (A4 5枚)</li> <li>・辰野町横川 ナノ水力発電 実験所の水利権について (A4 2枚)</li> <li>・第3回小水力部会 次第</li> <li>・自然エネルギー成果発表会および見本市</li> </ul>	
<b>実施内容</b> 3月4日12時45分にかやぶきの館に集合、車6台に便乗して約3km離れたナノ水力発電所に到着し13時からナノ水力発電施設見学会が開催されました。	
<b>1. ナノ水力発電施設見学会</b> 発電所解説者: 倉澤 久人 設置場所: 長野県上伊那郡辰野町横川 河川名: 横川川ひかげ沢農業用水路終端 発電出力: 約160w 最大300w 有効落差: 8m 現水量: 0.004 m <sup>3</sup> /秒 水車の型式: 誘導管路 ベルトン式水車 オンワード倉澤製造 発電機の型式: 永久磁石式周期発電機 オンワード倉澤製造 制御盤: オンワード倉澤製造	
	
・高効率発電機の開発は、今まで実用化されなかった小さな自然エネルギーからの発電を可能とし、自然エネルギー利用の拡大に貢献します。その第一歩として開発された発電機の実証及び耐久試験も合わせて、平成23年7月より稼働しています。初代の中川発電所は平成17年よりノートラブル・ノーメンテナンスで稼働しています。このために水車羽等の開発も同時に進め、極めて良いデータが得られています。	
・安定した発電と電力の使い道 設置以来、出力約160wの発電を続け、制御盤資料展示室の電力、街灯に利用しています。制御盤資料展示室の白熱電球、エコボール蛍光灯、LED電球、テレビ、DVDの電源として活用しています。	
・耐久性の実証 平成23年7月設置以来、ノートラブル、ノーメンテナンスで発電しています。取水口のごみ取り管理はたまに行っていますが、フィルターなどで殆ど防いでいます。	
・簡易的な設置方法の模索 設置当時も架台等に据えて簡便化を諮りましたが、長期試験のため導水管はしっかりと造りました。今日では消防用のホースにての簡易設置試験にも成功し、災害時及びアウトドア等の利用にも活躍が期待できます。	
	

### 辰野町横川 ナノ水力発電実証試験所の水利権について

県建設事務所の判断を求めたところ、慣行水利権の河川の可能性が高いので調べるとのことと、農業用水路従属発電の許可申請内容とほぼ同等の書類の提出を求められました。独自に調査を進めたところ、この用水路は許可水利権でも、慣行水利権でもなさそうなことにたどり着きました。

今後、小水力発電の許可申請件数が大幅に増えることを考えると、このような宙に浮いた河川が次々と表面化してくる可能性を思い、「許可手続きが必要かどうかの確認」だけに数カ月も費やしては、とても小水力発電の急速な普及促進などあり得ないと危惧致します。

### 第3回小水力部会 川島介護予防センター 14:45~16:15

#### 1. 小水力部会の活動計画

##### ○適地選定について

- ・平成23年度の適地調査は、木曾の方でかなり細かく行っていると聞いています
- ・伊那市では、適地を選定して、事業化が2つのパターンで進んでいて、伊那市が事業主体となって、建設省、中部電力、企業、が入って話が進んでいます。電気を作って何に使うかが問題ではないのか。
- ・木曾の方で友達が、適地があると言っているが、小水力部会で調べてもらえるのか。  
→すべてにおいて対応するのは難しい、調査活動をする経費も問題もあるのでは。
- ・今年の7月からの全量買取制度はどうなっているのでしょうか。  
→今、1000kwから200kwについては、25円くらいで決まるのではないかと、200kw以下では30円で決まるのではないかとされています。買取期間は20年で決まるとされています。

##### ○水利利用申請について

- ・河川局では申請手続きに6カ月もかかるが、どう期間を短くしていくのか。
- ・松川町の小水力申請では、専門業者に30万円支払って委託。最初県に話を持って行ったんですが、最終的には国に申請しなければならないと書類が壟回しになって、1年経っても進んでいない。  
→行政の担当者に良くわかってない人が多いのでは、まして何年か経つと職場異動があるので、審査が遅い理由になっているのではないかと→信州ネットで県にお願いできないか。

#### 2. 流速計の購入について

- 適地を選定するには、適地調査は不可欠で、流速計を購入する検討価値があるのでは。  
→現状、5万円位の流速計はないのでは、今回の部会で決める必要はない。

#### 3. 自然エネルギー信州ネット成果発表会及び見本市の対応について

- 仁科部会長制作、小水水力発電機
  - 小澤 知人所有小水力デモンストレーション機
- 2点の展示品を出展する。

### 記録写真

第2回小水力部会の様子。

